

認知神経リハビリテーション・ベーシックコース（静岡）プログラム

1日目 2020年2月1日（土）

[脳とリハビリテーション]

- 09:20- 認知の樹（映像）
- 09:30-10:30 講義 1) 行為と認知の神経科学（奥埜）
1. 脳の知覚運動制御メカニズム
 2. 運動の意図・予測・イメージ
 3. 運動学習、身体意識、多感覚統合
- 10:40-11:40 講義 2) 片麻痺の病態と機能回復の神経学（内田）
1. 痙性麻痺と錐体路
 2. 機能解離と半球間抑制
 3. 片麻痺の機能回復と神経可塑性

[認知神経リハビリテーション入門]

- 11:50-12:50 講義 3) 認知神経理論（三田）
1. 身体と環境の相互作用
 2. 認知過程からみた回復と学習の類似性
 3. 発達と物理的・心理的道具

昼休み

- 13:50-14:50 講義 4) 行為の機能システムと情報メカニズム（赤口）
1. 身体を情報の受容表面と捉える
 2. 行為・機能・情報のヒエラルキー
 3. 機能回復のための情報の構築
- 15:00-16:30 演習 1) 病態分析と病態解釈（平谷・全講師）
1. 脳画像検査や手術所見などから得られる情報から数量化、視覚化可能な検査チャートによる評価まで
 2. 外部観察・・・姿勢と動作の特徴（自発的・規定動作）、神経学的病理、特異的な運動の異常要素、行為システム
 3. 内部観察・・・認知過程の変質、意識経験の変質、観察のためのプロフィール、一人称言語記述、意識の志向性
- 16:40-18:10 演習 2) 認知問題と訓練の組織化（三田・全講師）
1. 身体部位、訓練段階、感覚モダリティ 認知問題
 2. 空間問題と接触問題
 3. テーマ(身体部位)、内容・方法・検証
- 18:30- 懇親会

2日目 2020年2月2日(日)

[認知神経リハビリテーションの実際]

09:20-12:40 演習3) 行為の機能システムと認知神経リハビリテーション

1. 行為システムと訓練器具の関係
2. 難易度の調整
3. 基本的手続きと実技

I. 体幹の機能システムと訓練の実際(担当:三田、補助:原、静岡研究会メンバー)

II. 上肢の機能システムと訓練の実際(担当:平谷、補助:赤口、静岡研究会メンバー)

III. 下肢の機能システムと訓練の実際(担当:内田、補助:奥埜、静岡研究会メンバー)

昼休み

[脳の中の訓練室]

13:30-14:30 講義5) 失行症と半側空間無視の病態解釈と治療の探求(赤口)

1. 「行為のトランスフォーメーション(変換)」としてみた左半球障害の特徴
2. 失行症の病態(肢節運動失行・観念運動失行・観念失行)
3. 失行症の治療(動作的・映像的・言語的表象の同種・異種感覚情報変換、道具使用)
4. 「行為のスペース・インテグレーション(空間統合)」としてみた右半球障害の特徴
5. 半側空間無視の病態(注意障害、身体空間・身体周辺空間・身体外空間)
6. 半側空間無視の治療(身体の正中線、体性感覚空間への注意、行為の多感覚統合)

14:40-15:40 講義6) 運動器疾患の病態解釈と回復の探求(奥埜)

1. 情報器官としての運動器と予測機構の破綻に基づく運動の異常
2. 機能システムからみた病態解釈
3. 運動器疾患に対する認知神経リハビリテーションの実際

[身体化された認知]

15:50-16:20 講義7) 身体化された認知(embodied cognition)の回復を目指して(平谷)

1. リハビリテーション身体論 ~フッサール、メルロ・ポンティ、ギブソン、ギャラガー、エーデルマン、ヴァレラ...
2. 身体・物語・人生とロマンティック・サイエンス ~ルリア、サックス、ペルフェッティ...
3. 行為の記憶と想起された現在 ~認知運動療法から行為間比較への旅...

16:20- 認知の樹(映像)

16:30 終了